

主催：株式会社未来創造部
共催：一般社団法人バーチュデザイン
株式会社オーシャナ
有限会社イーズ
協賛：熱海市

ブルーカーボンネットワーク 設立記念シンポジウム

2021年11月3日

未来創造部
枝廣淳子

1

1. 開会挨拶（株式会社未来創造部代表 枝廣淳子）
2. 応援メッセージ紹介
3. ブルーカーボンとは～その意義と内外の動向
4. 各地の取り組み事例紹介
 - ・奄美大島瀬戸内町の取り組み（株式会社オーシャナ代表・瀬戸内町地域活性化企業人 河本雄太氏）
 - ・熱海の取り組み（株式会社未来創造部副代表 光村智弘）
 - ・横浜の取り組み（一般社団法人里海イニシアティブ理事 富本龍徳氏）
5. 横浜ブルーカーボンからJBEへ
（ジャパンプルーエコミー技術研究組合理事 信時正人氏）
6. ブルーファイナンスについて
（一般社団法人バーチュデザイン代表理事 吉高まり氏）
7. ブルーカーボンネットワークの目的と活動について（枝廣淳子）

2

1. 開会挨拶 (株式会社未来創造部代表 枝廣淳子)
2. 応援メッセージ紹介
3. ブルーカーボンとは～その意義と内外の動向
4. 各地の取り組み事例紹介
 - 奄美大島瀬戸内町の取り組み (株式会社オーシヤナ代表・瀬戸内町地域活性化企業人 河本雄太氏)
 - 熱海の取り組み (株式会社未来創造部副代表 光村智弘)
 - 横浜の取り組み (一般社団法人里海イニシアティブ理事 富本龍徳氏)
5. 横浜ブルーカーボンからJBEへ
(ジャパンプルーエコノミー技術研究組合理事 信時正人氏)
6. ブルーファイナンスについて
(一般社団法人バーチャデザイン代表理事 吉高まり氏)
7. ブルーカーボンネットワークの目的と活動について (枝廣淳子)

3

ブルーカーボン・プロジェクト

4

ブルーカーボンネットワーク 設立応援メッセージ

シンポジウム開催おめでとうございます。

ブルーカーボンという炭素の新たな吸収源として注目を集めている藻場ですが、水産動物の産卵場や幼稚仔魚の育成場として、水産資源の維持といった観点からも大変重要です。

水産庁でも、これまで藻場の保全・創造に向けた事業の推進や実践的な取組事例をまとめた「磯焼け対策ガイドライン」を策定するなどして、各地域の取組を支援して参りました。

しかしながら、地球温暖化が進む中で、藻場の保全・創造に向け、さらなる対策の充実が求められていると考えています。

こうした状況において、藻場の再生に向け各地で熱心に取り組まれている方々をつなぐブルーカーボンネットワークの構築に向け、このシンポジウムが開催されることは、まさに時機を得たものです。

今回のシンポジウムが、より多くの仲間を集め、皆様の活動がさらに充実する契機となることを祈念いたします。

水産庁整備課 漁場環境情報分析官
中里 靖

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

海とのサステナブルな繋がりは、僕たちが好奇心を持っていろんなことに取り組んでいくことが大切です。

しかも食とCO2削減という2つの問題を結びつけた優れたプロジェクト。ぜひ応援していきたいと思います。

ap bank
小林武史

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

地球の生態系の奥深い強靭さを象徴するブルーカーボンについての理解が進み、私たちがさらに賢く持続可能な共生を実現できるために、この運動が広まりますように！

脳科学者
茂木健一郎

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

東京大学の副理事 (SDGS・社会
実装担当) としてもこの取り組みと
何かコラボレーションできればと
思います。この輪を広げましょう!

東京大学、東京大学TLO、東大EXT
山本 貴史

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

ブルーカーボン・ネットワーク設立、誠にお
めでとうございます。ネットゼロというゲー
ムチェンジが起きた現在、ブルーカーボン
をはじめとするCO2吸収源は社会に不可欠
なものとなりました。ブルーカーボンによる
吸収源を何倍にも増やしていくためには、
ネットワーク化が必要です!

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長
国土交通大臣認可法人 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合
(JBE) 理事長

桑江朝比呂

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

私自身、勉強不足もあり、正直恥ずかしながら、ブルーカーボンのことは最近知りました。福岡県に生まれ、海そばに住み、幼少のころから海の美しさや楽しさを味わっておきながら、「本来の海」を取り戻す活動については、全くと言っていいほど貢献できていません。

このブルーカーボン・ネットワークはもしかしたら、専門的な知識やスキルのない私のような人間にも、何かしら貢献できる余地のある活動だと思っています。環境問題に関するさまざまな活動がありますが、まずはより多くの方に知ってもらうことが大切であり、そのためにも多様なネットワークや開かれたプラットフォームが必要でしょう。微力ではありますが、情報発信や交流ところでお手伝いできればうれしいです。

株式会社チームボックス
中竹竜二

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

カーボンニュートラルから
カーボンネットネガティブへ、
ブルーカーボンを活用しよう

東京大学名誉教授
山本良一

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

30年来の友人の枝廣淳子さんと、
彼女が立ち上げたブルーカーボン・
ネットワークを応援します。

富山県知事
新田 八朗

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

人を含めた生物が生き続けられる
ためには、一人ひとりの努力が必要
です。できるところから確実に!海に
育てられた(漁師の息子で、漁業を
生業としてきた)一人として、応援し
ます。頑張りましょう!

斜里町役場
馬場 隆

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

この度は、温暖化対策と海の豊かさを取り戻すことを目的に、ブルーカーボンネットワークを設立されるとお聞きしました。

本町はご存じのとおり、山間地域のため、隣接している海こそありませんが、川から海へ水が流れるように、環境問題はつながっております。マイクロプラスチック問題もその一例であり、地球規模で考えなければならないことでもあります。

本町は、SDGSの考えのもと、ゼロ・ウェイスト宣言を行い、脱炭素社会及び持続可能なまちを目指しております。「海と山」フィールドこと違いますが、同じ大きな目標のため頑張りましょう！

上勝町長 花本 靖

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

ブルーカーボンネットワーク設立、誠におめでとうございます。

南小国町は九州のほぼ中央に位置しているため、地理的に海とのつながりは低いとも言えますが、森と海がつながっていることは事実であり、近年の異常ともいえる気象状況を鑑みても、海洋問題が他人事でないことは明白です。

森林や河川の環境保全是、上流域に住む私たちからできることです。

一つひとつできることから着実に行動を興しながら、この活動を応援します。

南小国町長
高橋周二

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

- 岡山県を含む瀬戸内海沿岸の地域はかつて豊かな藻場が広がっていたと聞いています。埋め立てにより「海のゆりかご」とも言われているその多くが失われ、漁業にも大きな影響があったそうです。ブルーカーボン・ネットワークの活動を通して、多くの団体、ひとがつながり、学びやアクションがさらに広がっていくことを願っています。私もブルーカーボン・ネットワークに賛同するひとりとして、出来ることをしていきたいと思っています。

岡山市役所 こども園推進課
流尾 正亮

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

西粟倉村は「百年の森林構想」によって森林の整備に取り組んでいます。森林と海はつながっています。豊かな海を取り戻し、多様な生態系を守るブルーカーボンネットワークを応援しています。

西粟倉村
上山隆浩

長野県には海がありませんが、水や生態系、産業など様々な面で海と山のつながりを感じています。

素晴らしい取り組みが各地に広がり、より良い環境を次世代に引き継げるよう、みんなで行動しましょう！

Hakuba SDGs Lab
渡邊宏太

3次元の環境による生産性が高いメリット多数のプロジェクト。環境分野の切り札として今後のさらなる普及を期待しております。熱海市も頑張ります！

熱海市 副市長
金井 慎一郎

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

私の住む熱海では海産物が特産品です。海の変化により漁獲量や漁獲物が近年変わってきている声も聞きます。是非こういった問題を発信、解決していくことで、未来に繋がる海を守っていきたいと思っています!その為ブルーカーボン、ネットワークさんの活動応援します!!

熱海商工会議所
石井 裕隆

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

枝廣さんと出会うまではブルーカーボンという言葉さえ知りませんでした、我々 魚市場や魚屋でも知る事は出来ます、発信する事も出来ます、少しでも魚市場の関係者にブルーカーボンの事を知ってもらい、魚屋の仲間にわかってもらい、そんな素晴らしい取り組みに少しでも関わっている事に感謝しかありません。

未来の海の為に! 本当にありがとうございます
す👍

熱海魚市場
宇田 勝

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

ブルーカーボン・ネットワークの取り組みを通して明るい未来が広がることを期待します！

海と森が近い資源豊かな熱海市で、NPO法人熱海キコリーズも森林保全活動の中で森からCO2吸収することで、温暖化ストップをサポートしていきたいです。同じ熱海市で活動しながら。この度は素晴らしい取り組みの設立おめでとうございます。

NPO法人 熱海キコリーズ
能勢友歌

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

とても魅力的で重要な取り組み
と思います。ネットゼロ・エコノ
ミーは待ったなしですし、海の
環境保全・回復も急務の課題
です。全面的に応援します！

長崎大学
鈴木 達治郎

海の多様性も、日本の大きな特徴のひとつ。産業として見るときにも、規模だけでなく、その多様性を、世界に向けて生かせるしたたかさを持ちましょう。

IIHOE
[人と組織と地球のための国際研究所]
川北秀人

- 地表の7割をしめる海は地球生命の故郷。様々な恵みを与えてくれるだけでなく、地球表面の温度を一定させる役割をもっています。海洋で生息する生物によってCO₂が吸収・固定されるブルーカーボンの活用は、人類の未来にとってとても重要です。この活動に賛同・応援します。

放送作家・京都芸術大学客員教授
谷崎テトラ

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

島根県海士町とご縁ができ、潜る海の変化を毎年感じます。

子供たちの時代にも、もっと先の未来にも、豊かな海で遊ぶ子供たちの歓声を残したいと強く願います。

英治出版株式会社 代表取締役
原田英治

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

自分たちの存在は、かけがえのないものです。同様に豊かな海は、かけがえのないものです。どちらも、失うのは簡単です。育むのは大変時間のかかるものです。自然人である人間が持続可能になるためにも、ブルーカーボン・ネットワークの活動を応援しています。よろしくお祈いします、失わないために！一緒に！

株式会社eumo 代表取締役
新井和宏

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

- 枝廣さんの立ち上げた「ブルーカーボンネットワーク」を全面的に応援します。私は葉山に住み、素潜りやサーフィンなどで海に触れ合ってきましたが、炭素の吸収源でもある海の偉大さを日々感じています。全人類の生命の源である海はかけがえのないもの。SDGSのターゲット14.1「あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に減少させる」は、一刻も早く取り組むべき目標であり、活動を通じて海がその生命力を取り戻すことを願っています。

株式会社イースクエア
本木 啓生

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

豊かな海は、多様な生態系を支える源です。海がもたらす恩恵に感謝を表す上においても、このカーボンネットワークの動きは重要だと感じています。応援しています。

認定NPO法人テラ・ルネッサンス
鬼丸昌也

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

海には私たちの生活から排出される毒物がすべて流れ着きます。散布された農薬、薬剤や牛糞などに含まれる抗生物質、原子力発電所からの核種。気候変動の影響で海が担ってきた気候を安定させる機能も失われつつあると言われます。このような状況を改善するためにも、ブルーカーボンという視点で海を見つめ直し保全していくことを目的としたブルーカーボン・ネットワークの発足に賛同します。

NPO Tuvalu Overview
遠藤 秀一

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

屋久島も藻場は壊滅状態です。
沿岸の生態系と漁業を再生させ、
気候変動対策としても期待できる
ブルーカーボンの取り組みを
応援します！

一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト
星川 淳

豊かな自然がなければ
人間は生きていけません。
ブルーカーボン・ネットワーク
の活動を応援します！

株式会社トラストバンク
須永珠代

機械を効率的に動かすために、この約200年、色々といじってきた地球を、デジタルの力で、もう一度、しなやかで強い、人が自然に暮らしやすい地球に戻すお手伝いができないかと思っています！

地球にやさしい生産性の向上目指して自分も頑張ります！ブルーカーボン・ネットワーク、応援してます📣📣📣

デジタル庁
村上敬亮

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

地球温暖化は容赦なく私たちの生活に影響を及ぼしてきています。とくに、農業や林業、漁業などの第一次産業に深刻な影響が出はじめています。

「ブルーカーボンネットワーク」、素晴らしい試みだと思います。応援します。

オイシックス・ラ・大地株式会社
代表取締役会長
藤田和芳

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

自然循環システムを活用した
持続的社会的の実現に
生物学者としても大いに期待
し、支持します。

国立環境研究所
五箇公一

海洋への関心が高まり、
連携の輪が大きく広がって
いくことを期待します！

一般財団法人
マリンオープンイノベーション機構
渡邊真一郎

気候危機、生物の多様性危機は、人類最大のチャレンジです。ブルーカーボンの取り組みは、豊かな海に囲まれ、海藻、海草、魚が重要な食文化である日本だからこそ、取り組み、貢献できる非常にユニークな活動だと思います。スウェーデンから応援をいたします。

Sustainability Collaborative
The Natural Step
高見幸子

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

CO₂を削減するために化石燃料の使用を控えることは大事ですが、同時に海や森林などの吸収源（シンク）を充実させることもとても重要です。地表の70%を占める海を豊かにし、ブルーカーボンを増やすことは脱炭素社会を目指すうえで欠かせません。母なる海を皆さんで育てていきましょう！

一般社団法人more trees
水谷伸吉

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

ブルーカーボン・ネットワークの発足おめでとうございます。僕も海が大好きです。海から気候変動を考え、行動するブルーカーボンの取り組みに共感します。日本の文化を活かすという意味でも大きな可能性があると思います。自分たちができることも考えてみたいです。

一般社団法人シンク・ジ・アース
上田壮一

とても素晴らしい取り組みの発
足かと思います！

是非情報共有いただき、海の再
生に繋げて行きたい一員に加え
ていただきたいと思います！！

海光物産株式会社・株式会社大傳丸
大野和彦

海の生物の多様性は陸以上だ
と思います。日本がもう一度豊
かな海を誇れる国になるように、
ブルーカーボン・ネットワークの
活動に期待しています。

株式会社レスポンスアビリティ
足立直樹

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

・ブルーカーボンは、海の生態系保全や持続可能な食の確保、地域活性化、温暖化対策などの多様な社会課題の解決に繋がり得る取り組みだと考えています。

・SDGSの観点からも13番「気候変動に具体的な対策を」、14番「海の豊かさを守ろう」を中心に、4番「教育」や17番「パートナーシップ」など、複数の目標に貢献できる裾野の広い取り組みと言えます。

・また、地域における藻場の再生活動は、海洋水質浄化が可能であることから漁業や観光業などの産業活性化など、地域社会の経済発展にも貢献するのではないのでしょうか。

・以上の観点から、首都圏を中心とした地域密着のインフラ企業である東京ガスは、「ブルーカーボン・ネットワーク」の活動を応援します。

東京ガス株式会社 取締役会長
広瀬 道明

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

**地球の生命を支える
海の回復を心から願って。
ブルーカーボン・ネットワーク
の取り組み、応援しています！**

早稲田大学／エコプラス
高野 孝子

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

この先の気候変動対策には、森林、海洋、土壌といった陸域と海域の生態系を豊かに、そしてその機能を最大化する自然に根差した解決策によるものが大切です。海の豊かさを少しずつ取り戻すなかで、海に関わっている人や仕事や地域を知り、私たちはその恩恵を受けていることにあらためて気づかされるのかもしれない。生きていく地域と自然が繁栄・再生していく社会を築くために、私たちも取り組んでいきます。

パタゴニア日本支社
中西悦子

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

ブルーカーボン・ネットワークはまさにこれまでの人間中心主義から自然がパートナーだと認識する素晴らしいエシカルな取り組みです。

美しい地球を未来世代に返すためにも、重要な一歩になるはずなので応援しています！

一般社団法人エシカル協会
末吉里花

ブルーカーボンネットワーク設立応援メッセージ

素晴らしい活動をありがとうございます。
滴が川となり、海をつくるように、僕ら一人ひとりの行動が未来を拓くのですね。
ブルーカーボン・ネットワークが大河の流れを生み出しますように。

大学院大学至善館 理事長・学長
野田智義

1. 開会挨拶 (株式会社未来創造部代表 枝廣淳子)
2. 応援メッセージ紹介
3. **ブルーカーボンとは～その意義と内外の動向**
4. 各地の取り組み事例紹介
 - ・奄美大島瀬戸内町の取り組み (株式会社オーシャナ代表・瀬戸内町地域活性化企業人 河本雄太氏)
 - ・熱海の取り組み (株式会社未来創造部副代表 光村智弘)
 - ・横浜の取り組み (一般社団法人里海イニシアティブ理事 富本龍徳氏)
5. 横浜ブルーカーボンからJBEへ
(ジャパンプルーエコミー技術研究組合理事 信時正人氏)
6. ブルーファイナンスについて
(一般社団法人バーチュデザイン代表理事 吉高まり氏)
7. ブルーカーボンネットワークの目的と活動について (枝廣淳子)

株式会社 未来創造部 2020年9月～



未来創造部のミッション

未来の子どもたちにきれいで楽しい地球を残す



代表取締役社長：枝廣 淳子

大学院大学至善館教授、イーズ代表、チェンジエージェント会長、幸せ経済社会研究所所長、東京ガス社外取締役。コロナの影響で熱海に長期滞在しているうちに地元のメンバーと意気投合し、未来創造部を立ち上げ。これまで数千人規模のまちづくりを手伝ってきたが、熱海では新たに数万人規模のまちづくりにチャレンジしたいと考えている。



代表取締役副社長：光村 智弘

熱海マリンサービス取締役社長。会社創立30周年の節目に、新事業部「未来創造部」を立ち上げる。これまで海岸清掃や減災・防災・ECO・健康など、ボランティア活動として実施してきた活動の一部を、「未来の子どもたちにきれいで楽しい地球を残す」ことを目的に、事業としてより広く深く持続可能に展開していく考え。

「未来の子どもたちにきれいで楽しい地球を残す」
ために必要だと考えていること

51

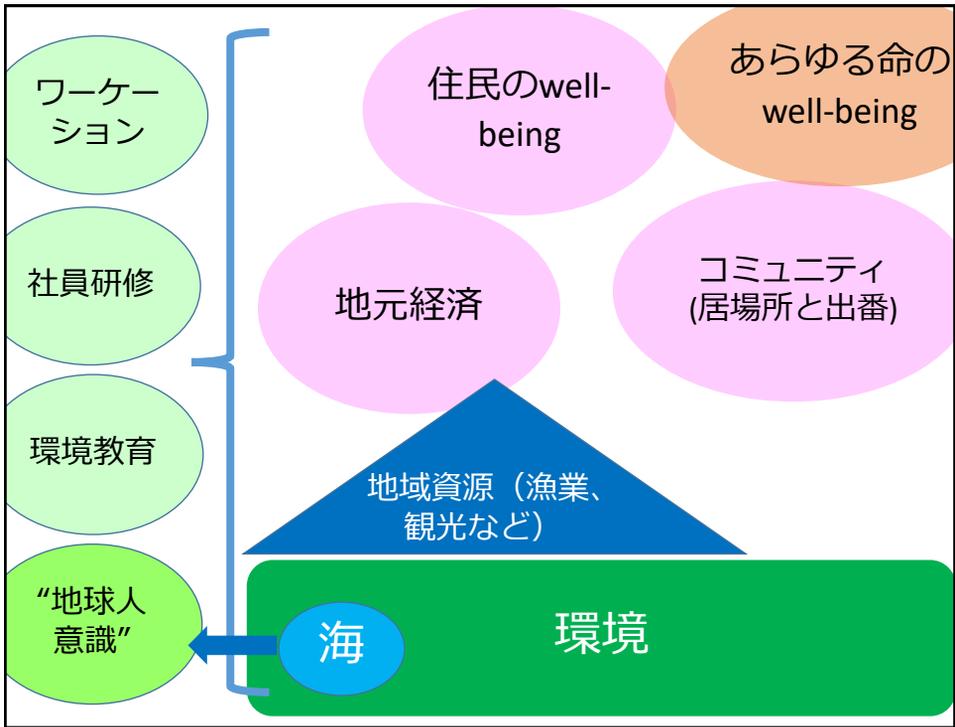
未来創造部が大事にしていること

エコロジカル
(環境への影響を
最小限に)

ソーシャル
(社会の中の脆弱
な人々との連携)

エシカル
(途上国の人々、
未来世代、生きとし
生けるものを大
事に)

ローカル
(地元の人々や経
済を大事に)





2F ワークーションスペース

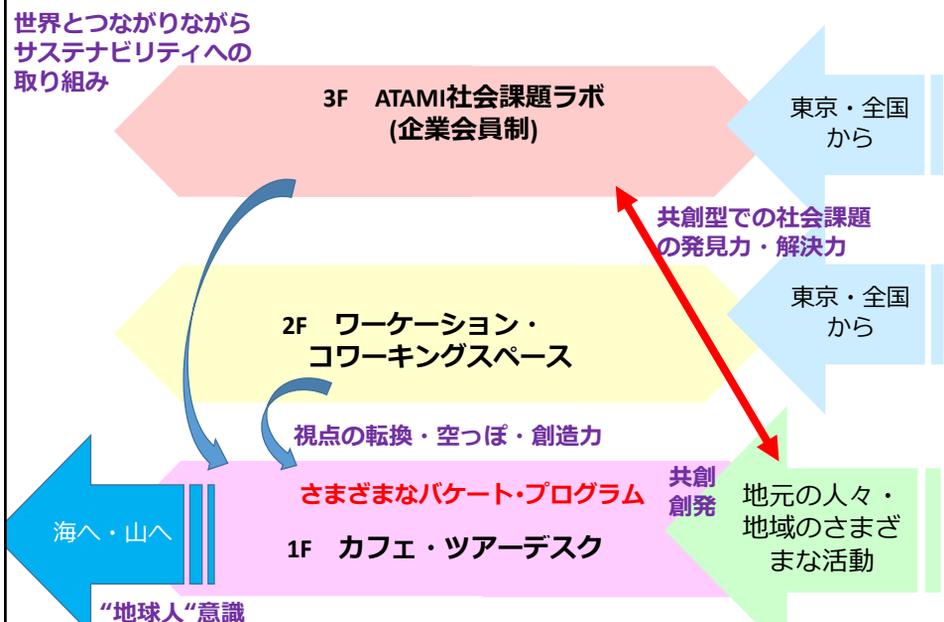


3F ミーティングルーム



完全個室のため、少人数での打ち合わせや、動画収録・オンライン会議、オンラインセミナーなど 利用料：1時間1,000円（税別）

マリンスクエア 全体構想



主な業務・活動

- Café・レンタルスペース・コワーキング運営
- ワークーション
- 海の体験、環境教育
- セミナー、勉強会
- 企業研修、ワークショップ、戦略会議
- 講演、対談、執筆、取材対応

- ビーチクラブ、海のゴミ回収
- プラキャッチプロジェクト
- 熱海市のゴミ削減プロジェクト
- 旅館組合青年部との環境対応プロジェクトなど

1Fcaféでのさまざまなイベント

 <p>お知らせ</p> <p>(終了しました) 5/29(土) 梅雨に負けずに浜焼きを楽しもう!</p> <p>2021年05月27日</p> 	 <p>セミナー・勉強会</p> <p>(終了しました) 5/21 マ リンスクエアcafe「渚亭」 でお笑い落語をどうぞ!</p> <p>2021年05月17日</p> 	 <p>14日21日と曜日 12:00 UTC-09~13:00 UTC-09 リンスクエアカフェ 春の天祭り</p> <p>お知らせ</p> <p>(終了しました) 5/22 小 俣さんの春の天祭り♪ & 浜 焼きcafé</p> <p>2021年05月17日</p> 
---	--	--

すべての人に居場所と出番を!











プラキャッチプロジェクト



SDGs目標12・14を体験を通して考える！

「海と川とプラごみプログラム」

2020/08/24
未来創造部
光村智弘・枝廣淳子

環境教育：ビーチでマイクロプラ実験



7月3日 伊豆山土石流災害を受けて



グループにリンクされているページ: [未来創造部](#)

熱海 未来創造部・伊豆山災害支援チーム

公開グループ・メンバー1,225人

参加済み

+ 招待する

75

地元の支援グループmtg



第2弾「伊豆山の漁業支援セット」 (寄付金付き)



7月25日 リュック詰め作業



7月28日 応援リュックサック贈呈





ゼロカーボンから
マイナスカーボンへ

ゼロカーボンからマイナスカーボンへ

- 大気中に排出するCO₂を減らす
省エネ、再エネなど

それだけでは足りない・・・

- 大気中のCO₂を除去する

83

大気中のCO₂を除去する方法

- DAC (Direct Air Capture) など
→ カーボンリサイクル (CCU)

- **グリーンカーボン**：植林など
陸上生態系に蓄積される炭素

- **ブルーカーボン**
海洋生態系に蓄積される炭素

84

「ブルーカーボン」



- 2009年10月
- 国連環境計画（UNEP）の報告書
- 海洋生態系に取り込まれた炭素
- 吸収源対策の新しい選択肢として提示された

85

ブルーカーボンの取り組み

- ① 藻場の再生
 - 海草（アマモなど）
 - 海藻（コンブ、ワカメ、カジメなど）
- ② 湿地・干潟の維持
- ③ マングローブの再生・植林

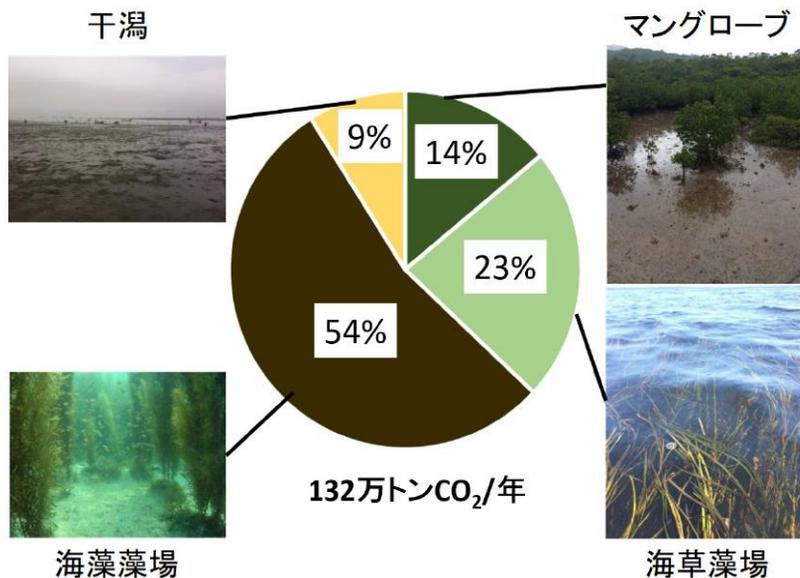
86

日本の沿岸生態系

- アマモに代表される海草藻場や、コンブやワカメに代表される海藻藻場が主
- 亜熱帯の沖縄県、鹿児島県にマングローブ林が分布
- 面積
 - 海草藻場が620km²、
 - 塩性湿地が470km²、
 - マングローブ林が30km²、
 - 海藻藻場が1,720km²

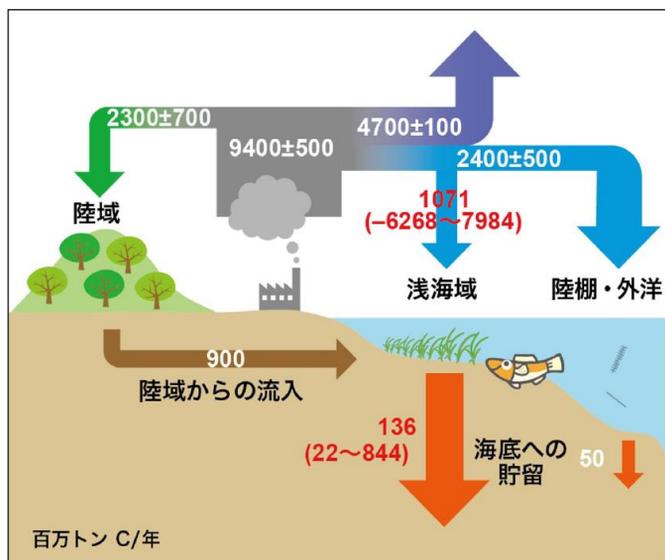
「ブルーカーボン生態系を通じた持続可能な沿岸利用―世界と日本の議論と実践」(東京財団政策研究所) 87

国内の浅海域によるCO₂吸収



(桑江氏)ブルーカーボンとは - NPO法人 国際環境経済研究所より

地球全体の炭素の流れ

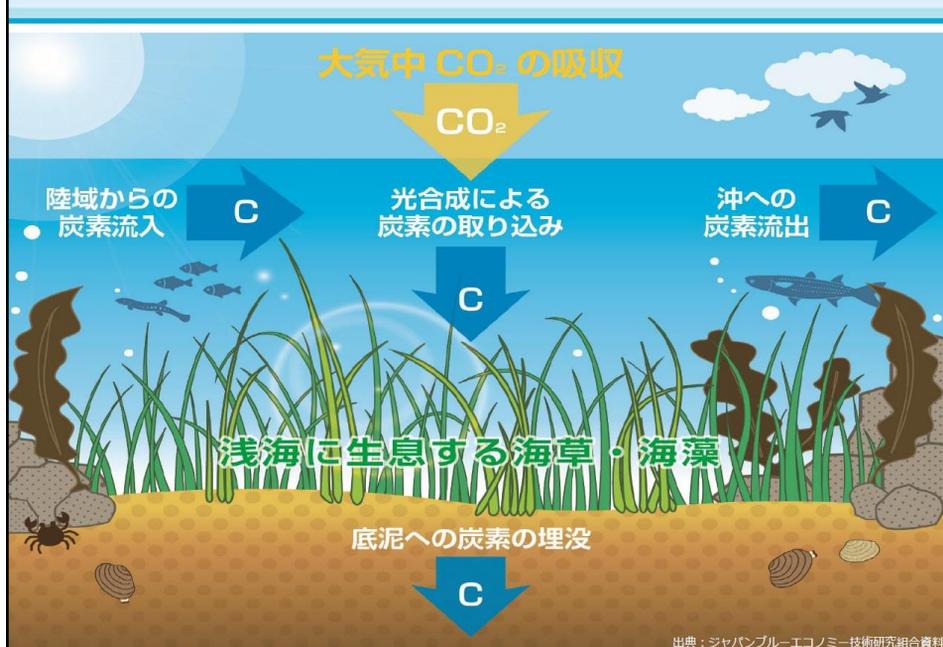


(桑江氏)ブルーカーボンとは - NPO法人 国際環境経済研究所より

89

ブルーカーボンのメカニズム

国土交通省



海底の炭素貯留

- 海底には年間1.9億～2.4億トンの炭素が新たに埋没し貯留されると推定されている
- 海洋全体の面積の1%にも満たない浅海域（海底まで光が届くエリア）が、貯留される炭素全体の約73～79%を占めているとされている

(桑江氏)ブルーカーボンとは - NPO法人 国際環境経済研究所より

91

さまざまな研究が進められている

- ブルーカーボン吸収量
- ブルーカーボンのメカニズム
例：食べてしまう海藻でも役に立っている！
生長中に難分解性粒子状有機炭素を生成

92

生態系消失の危機と保全の取り組み

UNEPの報告書『ブルーカーボン』では、「ブルーカーボン生態系の炭素貯留量は、陸上のすべての植物が貯留する炭素量に匹敵する」と、記しています。しかし「この貴重な生態系は、年間2～7%ずつ消失している（消失率は熱帯雨林の4倍）」と、警鐘を鳴らしています。消失により、貯留されていた炭素が放出されてしまうことも、大きな問題です。

周囲を海に開かれた日本では、世界に先んじてブルーカーボン生態系の働きと恩恵に注目し、保全・再生の取り組みが進められています。今後、国だけでなく自治体、企業や市民などの協働にも、大きな役割が期待されます。

海の森 ブルーカーボン(国交省)より

93

ブルーカーボン促進に必要なこと

- 国別炭素吸収量のインベントリに登録される
- 売れる！

94

国名	地球温暖化対策としてのブルーカーボンの活用に関する取組内容
米国	・負の炭素排出手法に関するレビューを実施 ¹⁾ ・GHGインベントリでブルーカーボンによる吸収の算定 ⁵⁾
英国	・連邦海洋経済プログラムを通して途上国支援 ²⁾
オーストラリア	・沿岸湿地を(吸収源の)対象にする意向 ³⁾ ・IPBC(ブルーカーボン国際パートナーシップ)への支援 ⁴⁾ ・GHGインベントリでブルーカーボンによる吸収の算定 ⁵⁾
インド	・適応策として沿岸植生の保護を実施中 ³⁾
バーレーン	・マングローブの植林 ⁶⁾ ・マングローブ林や海草藻場の炭素吸収源(carbon sink)としての可能性について、IUCN(国際自然保護連合)と協働で検討を進めていく ⁶⁾
UAE	・ブルーカーボンによる吸収の算定 ・炭素隔離(carbon sequestration)の可能性についての意思決定者の理解を深めるブルーカーボン実証プロジェクトの実施 ⁶⁾ ・マングローブの植林 ⁷⁾
日本(参考)	・ブルーカーボンを地球温暖化対策として定めていない

出典

- 1) NASEM. 2019. Negative Emissions Technologies and Reliable Sequestration: A Research Agenda. Washington, DC: The National Academies Press.
 2) Voluntary Commitment (#OceanAction19009)
 3) Coastal blue carbon ecosystems - Opportunities for Nationally Determined Contributions. Policy brief (2016. D. Herr, E. Landis) 参考資料1-1 p.1-3
 4) International Partnership for Blue Carbon (IPBC), 2015年に設立された国際組織
 5) 各国のGHG inventory資料 6) 各国のNationally Determined Contributions (NDC) 参考資料1-1 p.9-12
 7) Ab Dhabi Global Environmental Data Initiative (AGEDI), 2011. BLUE CARBON参考資料1-1 p.13-14

15

Mikoko Pamoja (ケニア)

- ・ Plan Vivo (英国) がクレジットルールを作成
- ・ マングローブ林の保全、再生を対象とした世界初のコミュニティ・ベースのブルーカーボン・クレジット
- ・ 対象：117ヘクタールのマングローブ林
- ・ クレジットの売上：マングローブを活用したエコツーリズムや子供の教材購入費、綺麗な水の供給などに利用され、雇用の機会も創出
- ・ ケニアの別地域やタンザニア、マダガスカル、モザンビークでも

「ブルーカーボン生態系を通じた持続可能な沿岸利用~世界と日本の議論と実践」(東京財団政策研究所)

コロンビアのモロスキヨ湾のシスパタ (Cispatá)

- Verra (米国) がクレジットルールを作成
- 世界初となる堆積物まで含むマングローブ生態系の保全に関するプロジェクトを登録
- コンサベーション・インターナショナルとアップルが支援
- 対象：約11,000ヘクタールのマングローブ林
- クレジット創出：年間33,000tCO₂e程のクレジット
- 2021年5月25日、アップルが17,000tCO₂eを購入、同社の2020年会計年度の包括的カーボンフットプリントのオフセットに利用

「ブルーカーボン生態系を通じた持続可能な沿岸利用~世界と日本の議論と実践」(東京財団政策研究所)

97

パキスタンのシンド (Sindh) 州

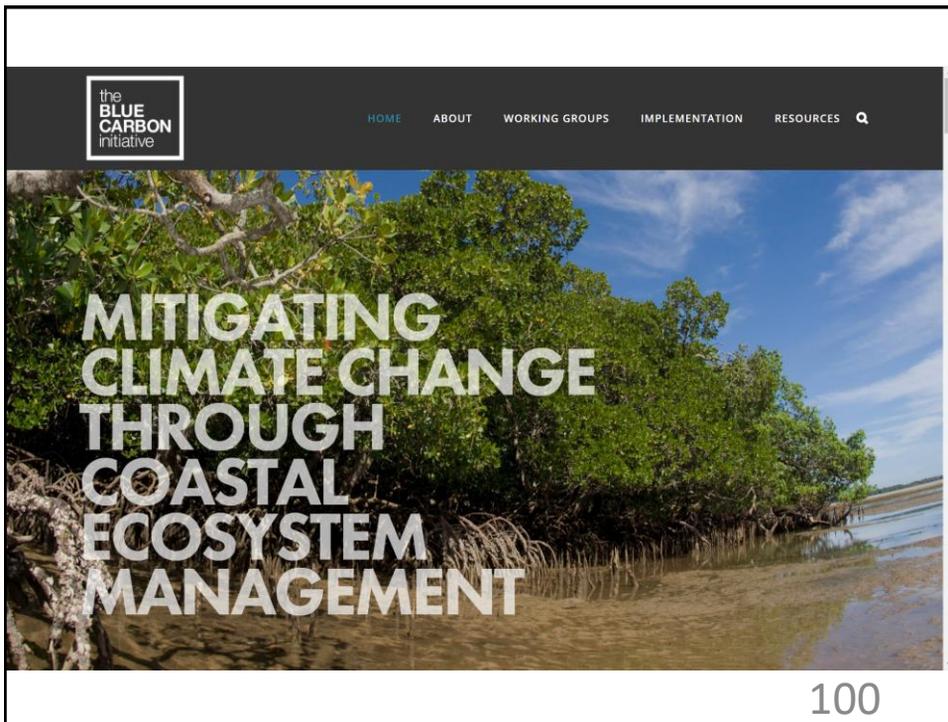
- 35万ヘクタールという広大なマングローブ林を対象とした今後60年にわたる保全、再生プロジェクトの申請
- Verraで検証が進められている
- クレジット創出：年間200万tCO₂eの規模になる見込み

- マングローブ林を対象とした大規模なプロジェクト：メキシコやセネガルなどに広がる見込み

「ブルーカーボン生態系を通じた持続可能な沿岸利用~世界と日本の議論と実践」(東京財団政策研究所)

98

ブルーカーボン 海外の動き・事例



the International Blue Carbon Initiative

沿岸や海洋の生態系を復元し、持続的に利用することを通して、気候変動を緩和するためのグローバルプログラム

- マングローブ、干潟、海草を中心に活動
- 世界各国の政府、研究機関、NGO、コミュニティが参加
- コンサベーション・インターナショナル（CI）、国際自然保護連合（IUCN）、ユネスコ政府間海洋学委員会（IOC-UNESCO）がコーディネイトを担当

活動には以下も含まれる

- ブルーカーボンの蓄積量および排出量を評価するための包括的な方法の開発
 - the Blue Carbon Manualを発行
<https://www.thebluecarboninitiative.org/manual>

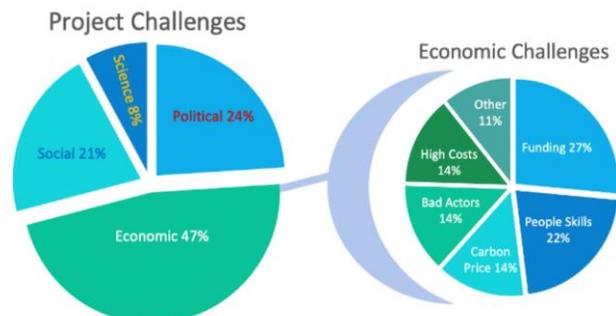
<https://www.thebluecarboninitiative.org/>

101

Blue Carbon: Mind the Gap

ブルーカーボンプロジェクトをすすめるにあたっての課題を中心にまとめた報告書

- この報告書では、ブルーカーボン・プロジェクトの開発と横展開のための主要な課題をまとめ、具体的・包括的な行動を提案する。
- マングローブの科学と保全に直接携わっている専門家との対話から、ブルーカーボンプロジェクトを成功させるための78の課題が明らかになった。



<https://gallifrey.foundation/wp-content/uploads/2020/10/Blue-Carbon-Mind-the-Gap-V2.2.pdf>

102

The Fair Carbon Project

主要な自然保護NGOと他のステークホルダーが協力して、カーボン・プロジェクトの設計、登録、検証を容易にすることを目的するプロジェクト

現在のカーボンプロジェクトの認定プロセスは複雑

フェアカーボン・プラットフォームでは、すべてのプロジェクトが直面する以下の4つの主要な問題に対処するためのガイド、指示、decision tree、チェックリストを提供

- 法的問題 - 土地所有権の問題
- 管理 - ガバナンス
- 財務 - プロジェクトの資金調達
- 科学的 - 保全基準

<https://faircarbon.org/>

103

Local Roots and Global Branches

- エジンバラ・ネイピア大学、プラン・ビボ財団、ケニア海洋水産研究所、シンガポール国立大学、IUCN（国際自然保護連合）の共同プロジェクト
- ブルーカーボンの生息地が国家規模で保護されている場合に、ブルーカーボンのガバナンスにおいてコミュニティの代表性をどのように維持できるかを探ることが目的
- ケニアの「ミココ・パモジャ」と「ヴァンガ・ブルーフォレスト」プロジェクトを事例として、気候変動に対する国家的な行動が、いかに地域に適したものとなり、コミュニティに利益をもたらすかを示すことを目指す

<https://www.integratingblue.com/>

104

The Blue Carbon Lab

オーストラリアのディーキン大学の生命・環境科学部と科学・建築環境学部に2016年1月に設置されたラボ

- 球規模の変化が淡水・沿岸・海洋の生態系に与える影響を理解・対応することをビジョンとする
- 気候変動を緩和し、ブルーエコノミーを強化するための革新的な研究による解決法を提供するとともに、水生生物多様性、経済成長、能力開発、地域社会のウェルビーイングを支援する
- ブルーカーボンの研究として、Seychelles Blue Carbon、Queensland Blue、Victoria's Blue Carbon、Blue Carbon Managementの4つのプログラムを持つ

<https://www.bluecarbonlab.org/opportunities/>

105

パイロットプロジェクト Blue Carbon Project

- ENGIE（スタートアップ企業への投資などを通じて新たなビジネスの開発を促進する組織）とアブダビ環境庁のパートナーシップによるプロジェクト
- マングローブが重要な役割を果たすアブダビのいくつかの地域を復元することで、海洋や沿岸の生態系が回収した二酸化炭素を蓄える「ブルーカーボン」実現を目指す

<https://innovation.engie.com/en/news/video/testimony/startup-story-blue-project-abu-dhabi/25969>

106

会議報告書

BLUE CARBON A NEW FRONTIER FOR CONSERVATION?

英国の海洋保全組織 BLUE Marine Foundation は2021年6月9日にブルーカーボンの可能性を探るための国際的なデジタル会議を開催

その結果をまとめた約50ページの報告書を2021年9月に発行

- セッション 1 ブルーカーボンのビジョン
- セッション 2 ブルーカーボンの機会と挑戦
- セッション 3 ブルーカーボンにける大望

https://www.bluemarinefoundation.com/wp-content/uploads/2021/09/4751-Mindfully-Wired-Blue-Carbon-Report_LOW_V14.pdf

107

ユネスコ報告書「海洋の世界遺産：世界のブルーカーボン資産を守護するもの」

原題 Marine World Heritage: custodians of the globe's blue carbon assets

- ユネスコが2021年に発行した報告書
- ユネスコの海洋の世界遺産のブルーカーボン資産を初めて評価
- 海洋の世界遺産は、世界的に重要なブルーカーボン資産を守る上で大きな役割を果たしている
- 世界の海洋面積の1%にも満たないにもかかわらず、データが得られた海洋の世界遺産とその周辺地域は、ブルーカーボン生態系の世界面積の21%以上、ブルーカーボン資産の15%以上を占めている

<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000375565>

108

アブダビ・ブルーカーボン・デモンストレーション・プロジェクト

アブダビの沿岸海洋生態系が提供する炭素隔離とその他生態系の理解を深めることが目的

2012年から2014年まで行われ、アブダビ・グローバル環境データ・イニシアティブ（AGEDI）の代理としてGRID-Arendalがプロジェクトを開発、管理

<https://www.grida.no/activities/324>

109

オーストラリア政府

2017年11月

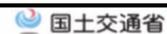
フィジーや太平洋地域、地域機関、民間セクター組織と連携して、太平洋における沿岸ブルーカーボン生態系を保護、管理する取り組みを支援するために、600万ドルの資金提供を発表

<https://www.environment.gov.au/water/wetlands/publications/wetlands-australia/national-wetlands-update-february-2019/govt-initiatives-blue-carbon> 110

日本も ブルーカーボン推進へ

111

政府戦略におけるブルーカーボン生態系活用の位置づけ



パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略(令和元年6月閣議決定) 抄

第2節:吸収源対策 ③自然環境

「ブルーカーボン」、すなわち沿岸域や海洋生態系に貯留される炭素について、全国的に有用水生植物を用いた藻場の保全・回復等のCO₂の吸収源としての可能性を追求する。

2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略(令和2年12月) 抄

4. 重要分野における「実行計画」(9)食料・農林水産業 ③CO₂吸収・固定

ブルーカーボンについては、炭素吸収量のインベントリ登録を目指す。また、地方公共団体等による沿岸域における藻場・干潟の造成・再生・保全の取組の推進、藻場・干潟等を対象にしたカーボンオフセット制度の検討を行う。

16

国内の動き

- 2017年2月：ブルーカーボン研究会設立（研究者＋国がオブザーバー参加）
- 2019年6月：国土交通省が「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」を設置
- 2020年7月：国土交通大臣認可のジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）設立
 - 2020年度内にJブルークレジット制度を作り、クレジットの審査・認証・発行を実施
 - 2021年1月末：JBEの外部に設置された第三者認証委員会による認証を受け、2月2日に、日本初となるJブルークレジットが横浜市ベイサイドマリーナに創出された海草藻場、海藻藻場を対象に発行

「ブルーカーボン生態系を通じた持続可能な沿岸利用～世界と日本の議論と実践」(東京財団政策研究所)

113

自治体の動き

- 横浜市：市内の海の公園の公園管理区域内に生息するアマモを対象に、2019年9月にクレジットを認証、同年12月には同クレジットを用いた日本初となるオフセットも実施
- 福岡市：2020年に博多湾ブルーカーボン・オフセット制度を創設し、博多湾で保全、創造されたアマモ場等を対象にクレジットが認証され、同年度内に販売、オフセットを実施

「ブルーカーボン生態系を通じた持続可能な沿岸利用～世界と日本の議論と実践」(東京財団政策研究所)

114

大阪府 阪南市

・ 養殖ワカメによるブルーカーボン・オフセット事業

- ・ 阪南市では、横浜市が構築した「ブルーカーボン・オフセット制度」を活用し、阪南市内 3 漁港の養殖ワカメをカーボン・オフセットに活用可能なクレジットとして申請、関西圏初の認証
- ・ クレジット申請者：阪南市長 水野謙二 様
- ・ クレジット対象：阪南市でのワカメ養殖（235.08 [t]）によるブルーカーボン
- ・ クレジット：2.3 [t-CO2]

<http://www.hannannoumi.com/wp/wp-content/uploads/2020/03/yokohama020330.pdf>

115

宮崎県 日南市

・ アラメ場のブルーカーボン・オフセット事業

- ・ 日向市に立地する東ソー日向株式会社様のご協力を得て、同社保有護岸に繁茂するアラメ場のブルーカーボン量を、横浜ブルーカーボン・オフセット制度によりクレジットとして認証
- ・ クレジット申請者：日向市長 十屋 幸平 様
- ・ クレジット対象：東ソー日向株式会社護岸部のアラメ場
（0.186 [ha]）
- ・ クレジット：0.5 [t-CO2]

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2019/Hyuga_arama.files/0001_20200110.pdf

116

岩手県 普代村

- **養殖ワカメ、養殖コンブのブルーカーボン・オフセット事業**
- 基幹産業でもある水産業の「養殖ワカメ」及び「養殖コンブ」のブルーカーボンを、横浜ブルーカーボン・オフセット制度によりクレジットとして認証
- クレジット申請者：普代村長 証屋 伸夫 様
- クレジット対象：普代村における養殖ワカメ（509.4 [t]）、
養殖コンブ（1,255.2 [t]）
- クレジット：58.0 [t-CO2]

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2019/YBC_Fudaimura.files/0001_20200226.pdf

117

神奈川県 横須賀市

市長メッセージ（横須賀市ゼロカーボンシティ宣言）

横須賀市では、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すという決意を市民の皆さんにお伝えをし、是非とも一緒に行動していきたいという気持ちから、「横須賀市ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

今後は、速やかに脱炭素関連の条例等の制定を進めるとともに、具体的な活動として、海藻類などの吸収量に着目したブルーカーボン事業の検討などを実施していく予定です。

https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0520/movie_channel/gyousei/message_27.html

118

島根県 松江市

松江市環境基本計画2021-2025

松江市では、環境基本計画の中のスマートライフ推進プロジェクトの一環として、ブルーカーボンによるカーボンオフセットを重点取組として位置付けている。

<https://www1.city.matsue.shimane.jp/shisei/keikaku/kankyou/kannkyoukihonkeikaku/index.data/2021-2025honpen.pdf>

119

宮城県

宮城県環境基本計画(第4期)

宮城県では、環境基本計画の中の二酸化炭素吸収原対策の推進を掲げ、ブルーカーボンの一つとして、アラメやアマモなどの海藻・海草が繁茂する「海中の森」である藻場を維持・拡大する取組を進めます。

<https://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/843013.pdf>

120

福岡県 糸島市

糸島漁協と(株)ヴェントゥーノがブルーカーボン推進における地域貢献協定を締結

海藻成分「フコイダン」を使用した健康食品・化粧品を販売する(株)ヴェントゥーノと糸島漁業協同組合が、6月1日、ブルーカーボンの推進における地域貢献協定を締結しました。ブルーカーボンに関する取り組みは両者ともに初めてとなります。

協定期間：2021年6月1日から2025年5月31日まで
(5年間)

<https://www.city.itoshima.lg.jp/s007/010/040/030/080/030/202106anken.pdf>

121

東京海上日動

Green Giftプロジェクトとは

Green Gift ホーム：マングローブ植林活動

Green Gift 地球元気プログラム

お知らせ

よくあるご質問

マングローブ植林活動

大きな海の森が広がりました。

これまでのマングローブ植林面積

11,618 ha

小倉駅 東京駅

距離 1,107.7km (100m幅)

※100m幅で新幹線の東京駅から小倉駅までの距離とほぼ同じです。

マングローブの森の年間CO₂吸収・固定量

120,000 t

実績

1999年～2021年3月

NIPPON STEEL 製品情報 技術開発 企業情報 株主・投資家情報 サステナビリティ 採用情報

HOME / サステナビリティ / 生物多様性保全への取り組み / 海の森づくり

サステナビリティ

- 日本製鉄の環境経営
- 気候変動への対応
- 循環型社会構築への貢献
- 環境リスクマネジメントの推進
- 生物多様性保全への取り組み
- 海の森づくり
- 環境リレーション活動

海の森づくり

磯焼け改善に向け全国38カ所で実施

コンブやワカメなど海藻類が失われ、不毛の状態となる磯焼け現象が日本各地の海岸約5,000kmにわたって起きています。

その一因とされる鉄分の供給不足の解消に向け、当社は「ピバリー®ユニット」を開発し、失われた海の藻場再生に取り組んでいます。ピバリー®ユニットは海藻類の生育に必要な「鉄イオン」を腐植酸鉄の形で海に供給します。森林土壌中の「鉄イオン」と「腐植酸」が結合することで生み出される腐植酸鉄を、鉄鋼スラグと廃木材由来の腐植物質を利用して人工的に生成し、供給することで藻場の造成を助けるのです。

このピバリー®ユニットは、全国漁業協同組合連合会が制定している鉄鋼スラグ製品安全確認認証制度で安全性に関する認証を受けています。



123

一般社団法人 海っ子の森

海の森づくりをテーマに海の環境保護・再生等の活動を実施。漁業及び漁業者への支援と、市民活動及び環境教育を行い地域の活性化を目指す

中間育成をしたアラメ・カジメを植林し、藻場の再生
三重県鳥羽市の漁協で、藻場再生に取り組む漁師へ技術支援

三重県紀北町の沿岸に「海のビオトープ」を作り、環境教育を実施

<http://www.umikko.jp/index.php>

124

長崎県（一社）マリン・アクティブ

アイゴ、イスズミ植食性魚類の 商品化

アイゴ、イスズミを食材として売り込み（料亭、パン屋、ホテル、すし屋など）

高校とともにアイゴの缶詰、イスズミかば焼き、蒲鉾の製品開発。

植物性魚類はアルギニン、オルニチンが多く含まれる。

https://www.jfa.maff.go.jp/j/seibi/attach/pdf/H30_isoyaketaisakukyougikai-13.pdf

125

一般社団法人里海イニシアティブ

“ヨコハマコンブプロジェクト”推進

- ・コンブ育成・普及（横浜から全国へ発信・展開）
- ・コンブ利活用の研究、展開
- ・環境教育啓蒙、実践

ブルーカーボン・クレジット創出者として横浜市(温暖化対策統括本部)から認定書を受領

<https://www.satoumi-i.com/3>

126

“日本型ブルーカーボン”

CO2吸収

+

海の生態系の回復・保全

- 漁業
- 観光

資源循環

- 地域循環共生圏
- 域内経済循環

127

熱海でもブルーカーボンプロジェクト始めています！

カレンダー オンラインショップ お問い合わせ スペース予約 未来創造部   



お知らせ マリンスクエアcafé ワークスペースレンタル 未来創造部の活動 私たちについて

1. 開会挨拶 (株式会社未来創造部代表 枝廣淳子)
2. 応援メッセージ紹介
3. ブルーカーボンとは～その意義と内外の動向
4. 各地の取り組み事例紹介
 - 奄美大島瀬戸内町の取り組み (株式会社オーシャナ代表・瀬戸内町地域活性化企業人 河本雄太氏)
 - 熱海の取り組み (株式会社未来創造部副代表 光村智弘)
 - 横浜の取り組み (一般社団法人里海イニシアティブ理事 富本龍徳氏)
5. 横浜ブルーカーボンからJBEへ
(ジャパンプルーエコノミー技術研究組合理事 信時正人氏)
6. ブルーファイナンスについて
(一般社団法人バーチャデザイン代表理事 吉高まり氏)
7. ブルーカーボンネットワークの目的と活動について (枝廣淳子)

129

ブルーカーボンネットワーク の目的と活動について

ブルーカーボンネットワーク立ち上げに向けて

ウェブサイト
の立ち上げ

設立記念
シンポジウム

会員制度

クラウド
ファンディング

発足応援団

目的

日本におけるブルーカーボンの取り組みを
促進し、広げることで、
海の豊かさを取り戻し、
温暖化対策の一助となる

★主な対象

ブルーカーボン、藻場の再生、生物多様性、気
候変動対策等に関心を持つ市民、NGO、事業
者、行政等



BLUE CARBON

温暖化対策も、海の豊かさの回復も。
広げよう海の森、ブルーカーボン。

ブルーカーボンと →

応援メッセージ/
読む →

活動

Webでの情報発信

- ◆ ブルーカーボンネットワークとは
- ◆ ブルーカーボンとは
- ◆ 日本の取り組み：地域、企業
- ◆ 世界の取り組み
- ◆ インタビュー「この人に聞く」

シンポジウム・セミナー・見学会・技術指導など



Blue Carbon Network

ブルーカーボン・ネットワーク

関心をお持ちの方々や、全国各地でブルーカーボンの取り組みを実践されているプレーヤーとその活動内容、さまざまな技術、制度等の情報をつなぐプラットフォームとネットワークの構築をめざして、ブルーカーボン・ネットワークが始動します！

1. ブルーカーボン・ネットワークの構築
2. 次世代へ豊かな海をつなぐ取り組み
3. 情報発信・情報共有の場づくり
4. シンポジウム・セミナー、現地見学会の開催

を進めてまいります。ぜひ一緒に！



1. ブルーカーボン・ネットワークの構築

ブルーカーボンや藻場再生に取り組む地域や自治体、気候変動・海の生態系などに関心を寄せる市民、ブルーカーボン・クレジット等の動きを知っておきたい企業、ブルーカーボン関連の技術を開発・販売している企業等をつなぐ場（ウェブサイト）と会員制度を構築し、情報共有の場をつくります

プレーヤーズ・ネットワークを立ち上げ、現場レベルの情報交換や学び合いを進めます

2. 次世代へ豊かな海をつなぐ取り組み

ネットワークの力を活用して、最初の2年間で全国の小中学校20校にオンライン（もしくは熱海市）にて出前授業を行います。

その後、100校まで増やしていきたいと考えています。

温暖化や海の生態系、海洋プラスチック汚染などの問題、および、豊かな海を取り戻すブルーカーボンの取り組みについて、次世代にしっかりと伝えます。

3. 情報発信・情報共有の場づくり

ブルーカーボンに関する基礎的な情報、国内外の取り組みや取り組みを進める上で参考になる技術、行政の支援制度、キーパーソンのインタビューなどを行い、ウェブサイトで情報発信をします。

世界の情報を翻訳して紹介し、
日本の取り組みを世界にも発信します

4. シンポジウム・セミナー、 現地見学会の開催

藻場の大切さやブルーカーボンについての理解をひとりでも多くの方々に持っていただけるよう、シンポジウムやセミナー、現地見学会を通じて意識啓発の活動に力を入れていきます。

年次の「ブルーカーボン・サミット」開催など

ブルーカーボン・ネットワーク サポーター会員、募集中！

個人サポーター会員

年会費：1万円（税込）

特典

- **ブルーカーボン・ニュースレター**をお届けします
（年4回、内外の動き、各地の取り組みなどをメールでお届けします）
- Webサイトにお名前を掲載いたします
（匿名でのご希望も承ります）

ブルーカーボン・ネットワーク サポーター会員、募集中！

賛助サポーター会員（企業・個人）

年会費：1口10万円（税込）（何口でもお申込みいただけます）

特典

- **ニュースレター**をお届けします（年4回、内外の動き、各地の取り組みなどをメールでお届けします）
- Webサイトに**社名ロゴ**または**お名前を掲載**いたします（匿名でのご希望も承ります）
※お申込みいただいた口数によって、社名ロゴの大きさが変わります
- 「**ブルーカーボン・ネットワーク・セミナー**」に参加できます（年4回、最新動向やクレジット制度、政策について有識者や実践者を招いての勉強会を熱海市＆オンラインで開催します）
- ビジネス用のメッセージングアプリ「**Slack**」で、**メンバー同士による情報交換**ができます

クラウドファンディングにぜひご協力を！

【豊かな海を取り戻す】温暖化を止めるブルーカーボンの取り組みを熱海から広げたい！

Blue Carbon Project ソーシャルグッド シェア ツイート LINEで送る

プロジェクトを支援する お気に入り

支援者：0人 お届け予定：2022年12月

資金の使い道

今回のクラウドファンディングで集まった資金は、WEBサイトの構築と当面2年間を想定した情報発信とネットワーク運営を継続していくための人件費、環境教育の活動運営費等に使用させていただきます。

◆WEBサイト構築費用	約150万円
◆正確で質の高い情報発信のための運営費 (取材・執筆・翻訳対応)	約100万円
◆シンポジウムやセミナー運営費 (年4回以上)	約50万円
◆環境教育活動運営費 (年10回を想定)	約60万円
◆書籍の執筆にかかわる経費	約85万円
◆リターン送料	約10万円
◆手数料	約45万円

100,000円

このリターンを選択する

賛助会員として一緒に活動を進めてくださる方、ぜひお待ちしております！

①心からのお礼メールをお送りします。（2021年12月、クラウドファン終了後）

②ブルーカーボンネットワークサポーター会員の会員権（賛助会員・1年間の会費）をお届けします。
※会員期間：2022年1月～12月（継続の強制はございません）
※サポーター会員についてはこのあとの「サポーター会員とは」をご覧ください

<https://www-back.jp/projects/514844/back/ctn/new?id=737166>

クラウドファンディングにぜひご協力を!

社会問題と向き合う人のクラウドファンディング

GoodMorning

プロジェクトをはじめ

プロジェクトをさがす

GoodMorning ISSUES

GoodMorningとは?



【豊かな海を取り戻す】温暖化を止めるブルーカーボンの取り組みを熱海から広げたい!

Blue Carbon Project

ソーシャルグッド



¥ 現在の支援総額

1,066,000円

21%

目標金額は5,000,000円

支援者数

24人

24時間以内に19人からの支援がありました

募集終了まで残り

42日

BLUE CARBON.jp

MENU



BLUE CARBON

温暖化対策も、海の豊かさの回復も。
広げよう海の森、ブルーカーボン。

ブルーカーボンと →

応援メッセージ
読む →

ブルーカーボン・ネットワークをどうぞよろしくお願いいたします!